

平成30年度から令和3年度までに寄せられたステークホルダーからのご意見、ご要望等に対する対応状況

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望等をいただきました。それらの対応状況を公開いたします。
今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【令和3年度意見聴取（令和4年度 意見対応） 令和5年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第44号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第44号読者アンケート（広報誌について）	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での就活状況 ・国立大学では珍しい美術館が魅力。「誌上ギャラリー」のような佐大生の作品のコーナー ・名物教授 ・地域産業の振興/外部資金の導入 ・「医」に関するテーマ ○意見・感想（要望） <ul style="list-style-type: none"> ・「友～TOMO Project」の企画は、とても素晴らしい ・内容が少なく限定的。学校教育の現場、学生生活を広報かつ面白く紹介してほしい。 ・縁の下の力持ち（黒子）も取り上げて頂ければ、全学のモチベーションも上がると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部署へ意見をお知らせします。 ・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・学生の活動やニュースなどをSNSやHPのサイト「佐賀大Press」で発信し、幅広く広報していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で多かった意見に関しては、以降の広報誌上で積極的に取り扱っています。 ・佐賀大学のニュースサイト「佐賀大Press」、また公式SNS（Twitter、Facebook、Instagram）では、サークルや研究、その受賞結果など、学生の活動を随時更新しています。また公式YouTubeチャンネルで配信している「さきどり情報局」では、定例会見で発表された学生の研究・取組みについても特集しています。
2	佐賀大学広報誌「かちがらす」第45号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第45号読者アンケート（広報誌について）	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ <ul style="list-style-type: none"> ・インターンや就職活動など ・コロナ禍での授業、対面授業への対応 ・学生の活動紹介 ・文系の研究 ・学内（敷地内）の写真 ○意見・感想（要望） <ul style="list-style-type: none"> ・HPが見にくいので「かちがらす」を応援しています。 ・佐賀の名物などプレゼントあったらおもしろいと思います。 ・広報誌とは別ですが、学食を土、日もあけてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部署へ意見をお知らせします。 ・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・SNSと連動したプレゼント企画を検討します。 ・HPが見にくいというご意見については広報室会議等で随時見直しを検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で多かった意見に関しては、以降の広報誌上で積極的に取り扱っています。 ・本学マスコットキャラクター「カッチーくん」をモチーフとしたオリジナルグッズ（ピンバッジ、マスキングテープ）を制作し、広報誌上で読者プレゼントとして実施しています。 ・HPは要望に応じて、より見やすいデザインに修正しています。
3	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	<p>佐賀大学の取組について（個々の企画に関するご意見は除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校との連携や企業とのコラボなど対外的な対応が魅力的 ・オープンキャンパス以外でも体験型の企画を開催しているのが良い。 	令和4年度の「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画選定の際に考慮します。	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や企業が参加するイベント、また体験型のイベントが支持されていることを選定基準の一つとしています。
4①	同窓会	ホームカミングデーの活性化策について	○以前のように卒業後10年、20年、30年、40年の卒業生に案内してはどうか。	案内を出していた参加者数の推移は、どちらかという減少傾向であり、第7回から今のやり方に見直した経緯があるため、以前の方法に再度見直すのは難しいと考えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のやり方に再度見直すことは効果の面からも難しいと思われるため、従来の案内に加え広報室のSNSを活用して新たなイベントも企画しPRした結果、90名の参加者があったが、目標の150名には届かなかった。
4②	同窓会	ホームカミングデーの活性化策について	○広報・PRの仕方を考えたらどうか。	これまでの同窓会報やホームページでの案内に加え、広報室のSNS（フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ）を活用してPRしていきます。	

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検 (R5.3.31)
4③	同窓会	ホームカミングデーの活性化策について	○学園祭とコラボしたらどうか。	ホームカミングデーの目的等を踏まえ、学園祭とコラボすることによるメリット・デメリットを整理したうえで、実現可能か検討していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度においては、コロナ禍の影響により学園祭の開催日の決定が遅かったため、学園祭実行委員会との打合せ等ができませんでした。令和5年度は、可能な限り早期に、コラボ開催が可能かどうか、学園祭実行委員会と調整していくこととします。
5	ホームカミングデー参加者 (佐賀大学名誉教授)	第10回ホームカミングデー (令和3年11月6日開催)	無料で参加できるオンライン公開講座があればと常々思っています。卒業生は今の佐賀大学でどのような授業が行われているのか？ 興味がある。参加してみたいと思っています。(オンライン公開講座があるのは知っています) 公開講座への無料参加を意見として申し上げましたが、「校友会・会員」について、特典として、公開講座への参加は無料としてはいかがでしょうか？	関係各署と調整して、校友会の終身会員の特典として、公開講座を無料参加とすることができるのか検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 本学の公開講座は、時間に応じた料金を設定しており、原則有償となっています。なお、一部で料金を減額したり、無料で実施する場合もあります。平成29年10月より、地域のみならず、佐賀大学の一部の授業の受講機会を提供する授業開放を実施しています。単位認定は行いませんが、教室で現役の学生とともに受講いただけます。有償ですが、科目等履修生等の単位認定を行う場合よりも低額な受講料を設定しています。「校友会・会員」への特典については、議論中ですが、無料で開催するものについては、積極的にご案内するよう努めます。 校友会会員への特典の在り方については、公開講座の無料・割引制度の導入をはじめ、校友会においても今後検討を進めていきます。
6	委員(学外委員も含む)	令和3年第1回基金管理委員会	佐賀大学基金HPの活動報告は寄附総額に関する報告のみで、寄附者の増加につながると思えません。どのように活用されたかは、佐賀大学基金NEWSに記載されていますが、これは寄附者へ配信するなど積極的に周知されているのでしょうか。継続的な寄附者の増加を目指して、基金HPのトップページに、「寄附をいただいた方へ」という囲みを作成し、寄附者への謝意や情報をまとめて提供、周知するなどしても良いのではないのでしょうか。	新たな寄附金獲得のためには、これまでの寄附金をどのように有効活用したのかというアピールが重要と考えます。佐賀大学基金NEWSのNo.3には、基金による経済的困窮学生への支援の実績について紹介しており、基金HPにアップするとともに、寄附者へお礼状とともに送付することとしております。また、ご提案のように、寄附者への謝意や情報をまとめて提供、周知するためのしくみとして新たに基金HPのトップページに「寄附をいただいた方へ」を設け、基金HPの充実に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、佐賀大学基金NEWSのNo.4では、令和2～3年度に実施した修学支援基金による学生支援の実績を紹介し、No.5では、課外活動支援基金による学生支援及び医学部ヨット部の活動を紹介するなど、基金による学生支援を記事としてとりまとめ発行した。 ご意見を踏まえて、基金HPのトップページに「寄附をいただいた方へ」を新たに設けました。 さらに、基金HPにおいて、美術館募金の受入状況における表示の見直し、院内保育事業基金芳名帳の新設、寄附者からのメッセージの更新機能の追加等の改修を行った。
7	授業履修者	授業評価アンケート	授業履修者の学習到達目標の達成実感や授業に対する満足度、自由記述による要望	授業を担当する教員は、アンケートの結果から学期毎に授業の改善目標等をポートフォリオ学習支援統合システムに報告し、授業改善に活用する。また、教育組織は組織別授業点検・評価報告書を作成し、カリキュラムの改善に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、アンケート結果を次のように活用する。 授業を担当する教員は、アンケートの結果から学期毎に授業の改善目標等をポートフォリオ学習支援統合システムに報告し、授業改善に活用する。 また、教育組織は組織別授業点検・評価報告書を作成し、カリキュラムの改善に活用する。
8①	卒業(修了)予定者	卒業(修了)予定者を対象とした共通アンケート	附属図書館で取り扱う図書・雑誌、電子ジャーナルをもっと増やしてほしい。利用しやすくしてほしい。	蔵書や電子ジャーナルをすぐに増加させることは予算的な制約もあり難しいが、蔵書等を探すための機能についての周知を行う。	見つけたい内容を横断的に検索できる附属図書館ホームページの「まとめて検索」機能や佐賀県公共図書館等との相互貸借サービスについて周知を行った。また、多くの学術論文や雑誌記事を閲覧することができるジャーナルデータベース(Academic OneFile)についてもホームページ等で周知を行った。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検 (R5.3.31)
8②	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	相談・助言のための体制がそれぞれあることを知らなかったのもう少し発信があると利用できたと思う。	進路相談（キャリアセンター）、健康に関する相談（保健管理センター）、各種ハラスメントに関する相談（ハラスメント相談員）について周知を強化する。	進路相談（キャリアセンター）、健康に関する相談（保健管理センター）、各種ハラスメントに関する相談（ハラスメント相談員）についてホームページ等で周知を行った。特に、進路相談に関して、令和3年度にキャリアセンターホームページのリニューアルを行った。「今週のトピックス」「イベントカレンダー」による直近イベントの案内等で就職活動イベントの情報が伝わりやすくなった。また、メンバー間でファイル共有等が容易に行えるグループウェア（キャリアセンター Teams）は学生が集まるリフレッシュルーム等のデジタルサイネージで周知動画を流し、キャリアセンターの「キャリアラジ」動画配信によって周知され順調に参加者が増えた。令和5年2月1日現在で1、516名の登録があり、情報発信を多数の学生が受け取っている。
9	一般市民、研究者等	オープンラボ	「実際にものを見ることで、理解が大変深まりました。」また、アンケートの集計結果、参加目的の動向が明らかとなった。特に、「海洋エネルギーに関する学習」「エネルギーや環境問題に関する学習」が多かった。	アンケートの要望を今後の企画、イベントの方法に活かしている。具体的には、展示方法、説明方法など。	アンケートの要望を今後の企画、イベントの方法に活かしている。具体的には、展示方法、説明方法など。
10	一般見学者、企業、自治体、研究者	見学会・視察	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい内容の研究なので、今後さらに認知度を上げるような広報活動が必要ではないでしょうか。 ・実証実験を色々な海洋エネルギーについて行っていくように、パイロットプラントができるような機器などをどんどん進めてほしい。 	アンケートの要望を研究成果の展示方法、情報発信、運営に活かしている。具体的には、説明方法、受入環境、研究成果の社会実装など。	アンケートの要望を研究成果の展示方法、情報発信、運営に活かしている。具体的には、説明方法、受入環境、研究成果の社会実装など。
11	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画最先端研究設備体験	<ul style="list-style-type: none"> ・今後参加したい内容（高校生による回答） ①模擬実験、②大学の研究室見学、③施設見学、④簡単なプログラミング実習、⑤芸術実技、⑥トピック・話題に関する講演 ・企画を知った要因 「チラシを見て」が最も多く、各校へのチラシ送付は一定の効果があると思われる。 ・本学HPやSNSに対して 「各SNSで佐賀大学の情報を簡単に入手できるし、深く知れる事が良い」「受験生むけのところが一目でわかるようになっていて良いと思います。佐賀大学がこんなにSNSを利用しているとは知らなかったため時間があるときに見ようと思います。」と好意的な意見を頂いた。 	今後参加したい内容を元に、次回開催内容を考慮する。次回開催の際も、チラシ作成等は積極的に行い、広報手段として活用する。	今後参加したい内容を元に、次回開催内容を考慮する。次回開催の際も、チラシ作成等は積極的に行い、広報手段として活用する。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検 (R5.3.31)
12	佐賀県教育委員会	佐賀大学教育学部、大学院学校教育学研究科及び佐賀県教育委員会との連携・協力協議会	家庭科教育の内容や指導方法に熟練した教師が育ちにくく、基礎的な理解や技能を持ち合わせないままに指導を行っている状況がある。児童生徒の安全や衛生的な学習環境を確保するために、現在の教師の指導状況を改善する必要がある。	小学校で初めて家庭科を担当する教員を対象に、佐賀大学教育学部家庭科教員と佐賀県教育委員会が協働で研修を実施し、実験・実習を安全かつ衛生的に行うための基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、実践の指導力向上を図ることを目的とし、家庭科指導力向上研修事業を実施する。	家庭科指導力向上研修事業として佐賀大学教育学部家庭科教員と佐賀県教育委員会が協働で衣生活、食生活各分野の小学校新任家庭科担当教諭研修を6月に実施した(衣生活分野に54名、食生活分野に54名が受講)。受講者の研修評価は高く、児童の安全や衛生的な環境を確保した家庭科の授業実践にとって有益な研修となった。
13	附属小学校保護者	附属学校園友会と学部との懇談会	佐賀県が学校の蛇口を自動水栓に切り替えることとなったが、附属小学校も自動水栓に切り替えていただけないか。	コロナウイルス対策のための物品購入として附属小学校校舎棟、体育館手洗い場に自動水栓(電池タイプ)を設置し、感染予防の一躍を担った。	(対応済み)
14	第4期(令和2年度)修了生及び修了生の勤務先管理職	佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)第4期修了生追跡調査	①学級経営上の諸課題への具体的対応方法に関する指導のニーズが多い。 ②卒後支援を望む声が多い。	・カリキュラムの改善を行う。 ・教育研究活動の改善を検討するFDの実施を検討する。	①について ・関連する授業、例えば「授業づくりと学級経営の基礎と課題」「教職キャリアデザインの基礎と課題」「学級・学校危機管理理論」の中で学級経営に関する指導を従来より多く取り入れました。 ・みなし実務家教員が、実際の学級経営上の課題を提示しその対応策を検討する授業外指導を実施しました。 ②について ・令和4年9月27日に第5期修了生対象の「修了生懇談会」を実施しました。 ・アンケート調査結果をどう読み、どう改善につなげるかをテーマとした教職大学院独自のFDを開催しました。(令和4年8月25日) ・調査結果を分析した報告書は令和4年3月刊行の「佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要」第6巻に掲載しました。
15	佐賀大学教育学部附属学校園地域連絡協議会委員	令和3年度附属学校園地域連絡協議会	・附属幼稚園が取り組まれている発達障がい傾向の子供への対応については、市内の幼稚園・保育所等での対応や悩んでいる保護者への情報提供として大いに参考になるので園や家庭での具体的ななかかわり方などを紹介発信してほしい。 ・急増する特別支援学級について、教員不足、指導力不足が喫緊の課題。専門的な知識や技能が十分ではない教員も多い。特別支援教育に実践力の育成は急務。		附属幼稚園が開設開催している「子育て相談室」や「子育て支援ワークショップ」、「子育てサロン」などを活用して発達障害傾向を感じられている未就園・未就学児の保護者が気軽に相談できる場を提供しています。園のHP案内掲載に加えて未就園児の体験保育時やフリーペーパーで紹介するなど広く情報の発信を行いました。 ・教育学部令和5年度入学者から「特別支援教育」及び「通常学級における発達障害児」に対応できる実践力を養う授業科目「LD等学習指導法」を、既存の必修科目に加えて新設しました。教職実践演習の特別な支援を要する児童・生徒に関する演習の改善方針を検討し、教育実習委員会においては、小・中学校教育実習の事前・事後指導に盛り込むこととしました。教職大学院においては、既存の特別支援教育の必修授業科目について「特別支援教育」及び「通常学級における発達障害児」に対応できる実践力を養う内容を増設しました。附属学校園での主免教育実習、併免教育実習、加えて教育ボランティア活動(主に幼・特支)への参加を通じて、連携教育や特別支援教育への知見と実践力を養成します。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
16	学生及び教職員（本庄及び有田キャンパスにおける女子トイレ及び多目的トイレを使用可能性がある者）	学生アンケート テーマ「生理用品の無償配布」	令和3年11月から令和4年3月までの予定で試行的に実施された生理用品の無償配布を継続してほしい。	令和4年4月以降も公益社団法人Civic Force様の協力のもと継続的に配布を行っている。	対応済み
17	附属病院に勤務する職員	医学部附属病院職員満足度調査	賃金が安い、休暇が取りづらい、仕事が多すぎる等	職員の皆さんの仕事に関する率直な思いや意見・要望をできる限り正確に把握し、少しでも働きやすい職場環境作りのために改善活動を行い、魅力ある職場づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境作りを目指し、勤務時間帯の見直し、出生時育児休業の新設並びに看護職員及びコメディカル等の職員の処遇改善を行いました。 看護職員等処遇改善事業（補助金）を原資とし、看護職員等（看護師・助産師）のほか、看護補助者、コメディカル等に対し、令和4年2月～9月の給与において、一律月額3,000円の処遇改善を行った。令和4年10月の給与からは、病院収入（看護職員処遇改善評価料）を原資に看護師について、上記手当の支給額を10,000円（その他コメディカルは引き続き3,000円）とした。 現在、看護助手の処遇改善について、検討を行っている。
18	患者様	患者満足度調査	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われます。	アンケート結果については病院内会議に報告するとともに、外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等、改善に向けた対応策を検討していきます。また、アンケート結果は病院内会議で報告し職員に周知するとともに、病院HPにて公開します。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、①病室でも利用できる患者用Wi-Fi設備を設置した。 さらに、②令和5年2月27日から外来患者呼出システムを導入する。呼び出しの際にはプライバシーを尊重するため番号で案内することで個人情報保護の観点からも患者サービスの充実をはかった。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第42号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第42号読者アンケート（広報誌について）	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ ・特色ある取組、研究 ・各学部、大学院での教育や研究の内容 ・国立大学では珍しい美術館が魅力。「誌上ギャラリー」のような佐大生の作品のコーナー ・名物教授 ・勉強に打ち込んだ学生について ・「医」に関するテーマ <p>○意見・感想（要望）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開放にとっても興味がある。オンライン授業を取り入れてほしい。 ・内容が少なく限定的。学校教育の現場、学生生活を広報かつ面白く紹介してほしい。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務連絡的内容が主で面白くない。広報情報が全くない。 	<p>取り上げてほしいテーマとして挙げられた以下の項目については第44号、第45号にて深掘りを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある取組、研究 ・各学部、大学院での教育や研究の内容 ・国立大学では珍しい美術館が魅力。「誌上ギャラリー」のような佐大生の作品のコーナー ・授業開放にとっても興味がある。オンライン授業を取り入れてほしい。 <p>ホームページについて、「業務連絡的内容が主で面白くない。広報情報が全くない。」というご意見に対して、YouTubeチャンネル「さきどり情報局」やHPのサイト「佐賀大Press」を通じ多様な情報発信を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げてほしいテーマとして挙げられた項目については、第46号、第47号で掲載しました。学生生活について第47号で特集していません。 ・本学HP以外に、情報発信サイト「佐賀大Press」を日々更新しています。また公式SNS（Twitter、Facebook、Instagram、YouTube）でも情報発信を継続しています。 ・授業開放は一部がオンラインで実施されています。
2	佐賀大学広報誌「かちがらす」第43号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第43号読者アンケート（広報誌について）	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○取り上げてほしいテーマ ・就職データの詳細 ・附属病院の評価 ・コロナ禍での授業、対面授業への対応、コロナ対策や転換について ・海外留学活動 ・国際会議での学生の発表 ・インターンシップ、資格取得 ・就活・試験の反省点など ・学生の活動紹介 ・学生の学費、生活費、奨学金 ・大学と地元との連携・協力事例等の紹介 <p>○意見・感想（要望）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業継続の理由が不明確。学生の状態も十分考慮し、通常授業の再開を望む。 ・オンライン授業の今後の可能性がよくわからない。対面授業とどのように併用するのか。 ・広報誌を経済的な面から簡素化して、その分学生に還元してほしい。 ・後援会、校友会などいろいろ会費を支払い混乱している。何種類あるのか。 ・大学の案内パンフレット等に芸術地域デザイン学 	<p>取り上げてほしいテーマとして挙げられた項目について、第46号の特集テーマ「コミュニケーションで広がる未来」でグループ化できるものを扱いました。（芸術地域デザイン学部学生の成果、就職支援、URAによる研究支援）</p> <p>後援会や校友会会費が分かりにくいというご指摘をいただいております。担当部門に情報共有を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り上げてほしいテーマとして挙げられた項目について、第47号特集「私たちの佐賀大生活」で「学び」、「課外」、「学食」、「就活」といったキーワードに分けて学生生活について詳しく記載しています。 ・校友会のホームページにおいて、校友会による学生支援事業及び校友間交流事業など、会費の活用実績を報告する機会を増やすとともに配信方法などに工夫をしていきます。
3	授業履修者	授業評価アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業を増やしてほしい ・人と会う機会を作ってほしい 	<p>令和3年度の授業では講義室の定員を50%以下にするなど、感染症対策を実施したうえで、対面授業をより多く実施できるよう取り組みました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら実施することができなかった令和2年度入学式を令和3年4月2日に開催しました。</p>	<p>令和4年度前学期は定員を70%以下にし、同後学期途中から定員は100%まで収容できるよう更新したことで対面授業、人と会う機会は増加している。以上によりご意見への対応は完了した。</p>

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検 (R5.3.31)
4	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	・ラーニング・ポートフォリオの入力が手間、大変	令和3年11月より、教務システム（Livecampus）においてラーニング・ポートフォリオを記入できるようになりました。学生の皆さんが普段から使い慣れている同システムで入力ができ、複数のシステムをまたぐことなく1つのシステムで完結できるようになりました。 また、ラーニング・ポートフォリオの他に、学生の皆さんの学習状況や成果をより分かりやすくするためのツールとして、それらを数値やグラフで分析・可視化する Learning Analytics Platform システム（通称 LAP システム）の運用も始まりました。 ラーニング・ポートフォリオは「自らの学習活動について振り返り、自らの言葉で記し、様々な根拠資料によってこれらの記述を裏付けた学習実践について厳選された記録」であり、LAP はこれらを記録にするにあたり、学習状況や成果を数値やグラフといった分かりやすい形式で分析・可視化してくれるため客観的な自己評価に役立ちます。 学生の皆さんにはラーニング・ポートフォリオの作成や LAP の活用を通して、自身の成長と強みを把握して、キャリアビジョンを明確にしなが人生を豊かなものにして頂きたいと思えます。	システムへのアクセスの利便性と振り返りに使える情報を提供する機能の追加で入力の手間感を下げることができると判断した。また、ラーニング・ポートフォリオの入力による自己の学修の振り返りの重要性について改めて周知する必要があると判断した。 左記のとおりLiveCampusへのシステム移行とLAPシステムの追加により手間感を下げ、また、左記内容の周知を行ったことによりご意見への対応は完了した。
5	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	・駐輪場の改善 ・駐輪場を増やしてほしい	歩行者がより安全に学内を歩けるようにするため、また自転車ですムーズに学内を移動できるようにするため、令和3年度に学内自転車道の整備を行っています。 学内自転車道は本庄キャンパス南東部外周を囲うように整備し、また、併せて駐輪場約1,000 台分を整備予定です。この整備により、朝や昼休みの時間などの自転車の混雑や駐輪場の不足が解消できる見込みです。	・左記の通り本庄キャンパスにおける駐輪場の増加と学内自転車道が整備され、ご意見への対応は完了した。（実施例：教養教育1号館と2号館の間の駐輪場については、白線を追加で引くことで駐輪スペースを増やした。） ・令和3年度に以下の駐輪場増設整備を行いました。 （本庄キャンパス） 屋根付き：347台 屋根無し：733台 計：1,080台
6	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	・災害等時の連絡（授業の開講等）を早めにしてほしい。 ・休講のときは早めに連絡してほしい。	令和3年度に気象警報発令時における授業等の取扱いに関する要項を改正し、これまで休講の判断基準としていた気象台による気象警報の他に、市町村が発令する避難情報を新たに加え、災害時等にはより迅速で丁寧な判断ができるようになりました。 引き続き佐賀大学では、大雨や台風などの自然災害が近づいているときには、本学ホームページやメールなどによって判断基準等を早めに示すなど、学生の皆さんの安全を守るよう情報を発信します。	・左記の通り休講の判断基準を見直し、より迅速で丁寧な判断ができるようにしたことで、ご意見への対応は完了した。
7	2013～2015年度に入学し、2016～2018年度に卒業した卒業生	卒業生・修了生アンケート	教養教育の役割と重要性について	全学教育機構の再構築について検討を開始しました。 カリキュラムについては、令和5年度実施を目指し改革案を検討しています。 また、組織については、令和4年度から順次改組できるよう検討を進めています。	・令和4年度は、基本教養科目を新たに7科目開設しました。更に、インターフェース科目で3つのプログラムを見直し、新たに2つのプログラムを開設しました。 ・組織については、令和5年4月から新たな体制で運営できるよう、検討を進めています。
8	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	オンラインでの授業開放の可能性	令和2年度後学期については、オンラインでのみ授業開放を実施しました。 令和3年度については、オンラインでのみ開講する科目、対面でのみ開講する科目、オンラインと対面の両方で開講する科目で授業開放を実施しました。	・令和4年度については、すべての回をオンラインで受講できる科目を前期9科目、後期9科目用意した。
9	患者様	患者満足度調査	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われます。	アンケート結果については病院内会議に報告するとともに、外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等、改善に向けた対応策を検討しています。 また、アンケート結果は病院内会議で報告し職員に周知するとともに、病院HPにて公開しています。	令和4年度意見対応の整理番号18の「対応状況の点検」欄に、具体的な改善事例を例示

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
1	来てみんしゃい佐賀大学へ 企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	<ul style="list-style-type: none"> ・カッチーくんを呼んで欲しい。カッチー教室をまた開催して欲しい。カッチーくんのぬいぐるみを売って欲しい。 ・外国の人とも遊びたい ・普段入れない所に入ってみたい。 ・3日間だけではなく期間をもっと長くして欲しい。（10日くらい） ・春休み、冬休みも開催して欲しい。 ・来年も開催して欲しい。 ・大学生と触れ合えるイベントがもっと増えたらいいと思う。 ・プールをしたい。 ・お料理教室がしたい。 ・理科の実験がしたい。工場見学がしたい。 ・ドクターヘリをもう1回見たい。 	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同様の企画を実施することができませんでした。来年度以降の実施に向けて検討を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に対面で5つの企画を実施しました。
2	来てみんしゃい佐賀大学へ 企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の存在をもっと広報して欲しい。 ・佐賀大学のホームページは見づらい。 ・佐賀大学が身近に感じられるような企画があったら参加したい。 ・子供が芸術、伝統文化に触れる機会があればうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館では、様々な講演会や貴重資料展示等を行うことによって、一般市民の方の情報収集及び生涯学習の場として、大学図書館へ足を運んでいただく機会を作っています。開催にあたっては、広く一般市民の方にお伝えできるよう、広報を充実させて周知に努めます。 ・令和2年度はトップページのデザインを見やすいものに変更しました。求められた情報をわかりやすく提供できるように引き続き検討を行ってまいります。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面でのイベントを実施することができませんでした。来年度の「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画選定の際に、考慮いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館が関連するイベントについて、一般にも広く知っていただくよう取材や会見を通して周知に努めています。 ・トップページは要望に応じて、より見やすいデザインに修正しています。
3	佐賀大学広報誌「かちがらす」第40号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第40号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生や卒業生の頑張りや声を載せてほしい。また、掲載される学科が偏っているように感じる。 ・旧教員の現在を紹介してほしい。 ・写真もカラフルで見やすい。理工は学科が多いので分けて取り上げてほしい。 ・具体的に何人の人がどんな会社あるいは公務員などになったか知りたい。 ・現在の大学生生活の状況及び就職又、離職率の現状を知りたい。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストを増やすと見やすくなると思う。 ・リニューアルしたので内容も新しくしてほしい。 ・スマホで見るとゴチャゴチャした印象。イベントカレンダーがすぐに出るのは良い。 	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かちがらす」第43号において「社会で輝く先輩からのメッセージ」、「イキイキ佐大生」を掲載しました（第44号でも掲載予定）。その際に、学部、学科に偏りがないようにしました。 ・「かちがらす」第43号において「就職データ 2020年の就活状況」を掲載し、地域別産業別の就職者数を報告しました。HPでは、職業別、産業別の経年データを公開しています。 ・掲載記事については、紙面に限りはありますが、できるだけご要望にお応えできるよう検討します。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度はトップページのデザインを見やすいものに変更しました。求められた情報をわかりやすく提供できるように、引き続き検討を行ってまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かちがらす誌上の記事は、学部・学科・男女比など、偏りがないように常に考慮しています。 ・トップページは要望に応じて、より見やすいデザインに修正しています。

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検 (R5.3.31)
4	佐賀大学広報誌「かちがらす」第41号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第41号読者アンケート (広報誌についてご意見・感想)	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢を掴んだ先輩たち」を年間を通してタイムテーブルで具体的に知りたい。 ・創設時の苦労 ・佐賀大学美術館の催し物を紹介してほしい。 ・各部活動 ・就職状況や公務員合格状況について、詳しい内訳等について掘り下げたもの ・子供が卒業しても「かちがらす」を読みたい。基金に寄付をすれば、読める? ・佐賀県の名物・文化・歴史などの紹介記事を掲載してほしい。 ・デザインが「優等生」っぽい ・普段の学生の様子なども載せてもらえたら、離れて暮らす保護者としては安心できる。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生のゼミの発表会(一般公開)をもっとわかりやすく、そして、目立つようにしてほしい。 	<p><広報誌について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載記事については、紙面に限りはありますが、できるだけご要望にお応えできるよう検討します。 ・「かちがらす」では、毎月「サークル紹介」で部活動の様子を紹介しています。 ・「かちがらす」は、本学HPからもご覧いただけます。 https://www.saga-u.ac.jp/koho/ ・「かちがらす」第42号から専門家に記事、写真、デザインを委託し、好評です。 <p><ホームページについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミの発表会等は、学部のオリジナルページで紹介しているところもあります。学部からの情報を基に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かちがらす誌上の記事は、学部・学科・男女比など、偏りがないように常に考慮しています。
5	授業開放受講者(一般市民)	2019後学期佐賀大学授業開放受講者アンケート	教養科目から継続して学べるような専門科目も開放してほしい。	2020年前学期からは、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催中止となりました。2020年後学期はオンラインのみで科目数を絞って実施しました。2021年度前学期からは、コロナ対策を十分に講じた上で、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定です。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門教育科目の開放科目も増えてきており、前学期21科目、後学期24科目開放した。令和4年度からは看護師免許を持った方を対象とした医学部看護学科の科目を開放し始めた。 ・専門教育科目については、リカレント教育の側面もあり、就業しながら受講している受講者が多く見受けられた。
6	学生	神集島合宿研修所利用についてのアンケート	神集島合宿研修所があることを知らない学生が多かった。	令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、合宿研修所をほぼ閉所しており、有効なPRが行っていません。ただし、担当者による視察や、施設の整備を行っており、本格的な利用再開の目途がつか次第、PRを行う予定としています。	整備等は引き続き行っているものの、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響によりほぼ閉所状態だった。来年度の本格的な利用再開の目途がつか次第、PRを行う予定としている。
7	学生	2019年度学生生活実態調査票学部生・大学院生へのアンケート実施	構内の駐車場(自動車)の充足状況について不足しているとの意見が約7割近くある。(R2.2.26現在)	本庄キャンパスでは、学内幹線道路等整備を行い、令和4年1月に供用を開始しました。自動車道・駐車場の整備として、学内幹線道路(ラクウショウ並木道)の自動車進入禁止に伴い、芸術地域デザイン学部西側の南北河川沿いに自動車道を整備し、歩車道分離を推進しました。また、駐車場及び駐輪場を新設しました。	対応済み
8	県内企業採用担当者	県内企業と佐賀大学との交流会	学生とのフリートーク会といった、学生と直接話ができる機会がほしい。	新型コロナウイルスの感染拡大によって、交流イベントは実施できませんでしたが、学生向けに企画しているWebラジオ「キャリアラジ」に、県内企業の方を招待し、学生の質問等と一緒に答えていただく機会を設けました。次年度以降は、状況に応じて対面イベントを企画するとともに、Webでのイベントも並行して実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度はキャリアアクセラレーションプログラムにおいてサガHR交流会参加の企業による、学生を対象とした質問・相談会を3回実施した。 ・また他のキャリアアクセラレーションプログラムにおいても、県内企業に限らないが、企業からの申し込みにより、学生とのイベントを実施している。
9	ホームカミングデー参加者(佐賀大学卒業生)	佐賀大学海外版ホームカミングデー in クアラルンプール(令和元年12月14日開催)	Knowing more present situation of Saga University(佐賀大学の近況についてもっと知りたい)	在学生作成のニュースレター「Hi! from SAGA」を年(春夏秋冬)に4回、情報発信しました。今も国際交流推進センターのホームページ上で発信しています。	対応済み
10	佐賀大学経済学部卒業生	佐賀大学経済学部卒業生アンケート2019	経済学部の改組(2013年)以前と以後の学習環境に関する要望等	アンケートを集計し、改組前後の満足度を比較した結果、改組後の満足度が高いことが確認できました。今後、認証評価の資料として公開される予定です。要望があった学部棟の老朽化については、予算に応じた建物改修と施設整備を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部では、1号館から4号館を学部棟として利用していますが、平成25(2013)年度に1号館、令和元(2019)年度に2・3号館、令和4(2022)年度に4号館の建物改修を以て、全棟改修が終了しました。 ・令和4年度に老朽化した経済学部4号館を改修(令和5年3月竣工)しました。これにより、経済学部は全ての施設の改修が完了しました。

整理 番号	ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
11	患者様	患者満足度調査	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われます。	アンケート結果については病院内会議に報告するとともに、外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等、改善に向けた対応策を検討しています。また、アンケート結果は病院内会議で報告し職員に周知するとともに、病院HPにて公開しています。	令和4年度意見対応の整理番号18の「対応状況の点検」欄に、具体的な改善事例を例示

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R5.3.31）
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第39号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第39号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・学部卒と大学院卒の就活の違いとかいろいろ知りたい。 ・就活スケジュールが無くなったことで、子供達がどのように就活していくのか、公務員スケジュールについても知りたい。 	広報誌40号に就活のスケジュールを掲載。広報誌のスペースにも限りがあり、毎号同様の内容は掲載できませんが、今後も特集などで取り扱う予定です。	<ul style="list-style-type: none"> ・第42号、第43号、第47号で就活について特集しています。
2	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画（逢いに来んしゃい！佐賀大学の「宝」の数々に一小城鍋島家のコレクションをわかりやすく紹介しますー）	<ul style="list-style-type: none"> ・外訪者駐車場の確保と無料化をお願いしたい。開かれた大学の第一要件と考えます。 ・「公開講座」の充実をお願いします。ドイツ語公開講座の復活をお願いします。 ・「公開講座」の受講生に対しては駐車料金を割引にする等してほしいです。 ・佐大図書館を一般の人も利用しやすいようにしてください。佐大生、卒業生、一度来たことがある人以外は使いにくい気がします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金については、原則として有料とさせていただいており、今後の検討とさせていただきます。 ・「公開講座」のドイツ語については、希望があるため再開を検討中です。 ・附属図書館では、様々な講演会や貴重資料展示等を行うことによって、一般市民の方に大学図書館へ足を運んでいただく機会を作っています。開催にあたっては、広く一般市民の方にお伝えできるよう、広報を充実させて周知に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースの制約もあることから、入構料は原則有料（24時間200円）を維持していますが、入構後1時間以内の出構は無料としました。 ・ドイツ語の公開講座開催について検討し、令和5年度の授業開放科目にドイツ語関係の科目を3科目新たに追加した。
3	患者様	患者満足度調査	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると考えられます。	アンケート結果に基づき、外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等、改善に向けた対応策を病院内会議で検討していきます。また、アンケート結果内容は病院内会議で報告し、職員に周知するとともに、病院HPにて公開しています。	令和4年度意見対応の整理番号18の「対応状況の点検」欄に、具体的な改善事例を例示
4	経済学部後援会総会参加者の保護者（44名参加者のうちアンケート記入者17名）	経済学部後援会総会でのアンケート	後援会費の未納者への督促についてももっと後援会での活動内容をアピールし、どのように利用されているか、詳細を伝えるべきだと思います。また卒業祝賀会の参加者で未納の方は別徴収を検討してほしい。	後援会費未納者への督促時に、後援会による支援内容を、文字のみではなく、写真入りでわかりやすく記載しました。それに加え、「未納の方は、卒業祝賀会費用の別徴収を検討している」旨、記載しました。	対応済み
5	外部の研究協力者	共同研究者の集い	開催時期について学校行事等を勘案して、適切な時期の開催を希望します。また、共同研究に関する目的、内容・方法等についても十分周知してほしいと思います。	開催時期については、学校行事等も勘案して翌年度の日程を調整し実施しました。また、共同研究に関する目的、内容・方法等については、各教科の担当者から事前に外部の研究協力者に対して説明を行ったうえで、指導及び助言を行っていただきました。学部からの地域中学校のモデルとしての研究要請と共同研究の依頼及びアンケート等の協力依頼に対しては、適切に対応しました。	対応済み
6	学生（課外活動団体の代表者）	「サークル・リーダーシップ・セミナー」における課外活動満足度調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティアサークルの部室がほしい。 2. グラウンドの水はげが悪いので、整備してほしい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1サークル会館内にボランティアサークルの部室を設置しました。 2. 野球場に黒土を入れて使用サークルでの整備を行いました。 	対応済み